The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	学会消息
Author(s)	
Citation	大阪大学経済学. 2017, 67(1), p. 36-64
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/61923
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

学 会 消 息

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

人 事 異 動

祝迫達郎准教授は，平成 28 年 5 月 1 日付けをもって本研究科教授に昇任した.（応用経済講座）

臼井正樹は，平成 28 年 4 月 1 日付けをもって日本銀行金融機構局企画役から本研究科講師に採用された.（応用経済講座）

JEON HAEJUNは，平成 28 年 4 月 1 日付けをもって大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程経営学系専攻から本研究科助教に採用された.（モデル解析講座）

関口倫紀教授（経営情報講座）は，平成 28 年 9 月 30 日付けをもって本研究科を退職し，京都大学大学院経済学研究科教授となった.

Pierre-Yves Donzé准教授は，平成 28 年 12 月 1 日付けをもって本研究科教授に昇任した.（歴史分析講座）

友部謙一教授（歴史分析講座）は，平成 29 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し，一橋大学大学院経済学研究科教授となった.

小暮克夫特任講師（常勤）は，平成 29 年 3 月 31 日付けをもって本研究科の任期を満了した.

木下亮助教（政策分析講座）は，平成 29 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し，東京経済大学経営学部講師となった.

研 究 交 流

恩地一樹准教授は，税と組織改編の研究および情報収集を行うため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 4 月 1 日に出発し，5 月 31 日に帰国した.

阿部顕三教授は，輸送部門を含む国際貿易理論に関する研究打ち合わせのため，カナダ，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 4 月 7 日に出発し，同月 11 日に帰国した.

安田洋祐准教授は，持続可能な発展のための資源配分メカニズム設計理論の構築に関する研究打ち合わせおよび研究セミナーへの参加のため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 4 月 19 日に出発し，5 月 24 日に帰国した.

福重元嗣教授は，部局間交流に関する打ち合わせのため，タイ王国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 5 月 13 日に出発し，同月 15 日に帰国した.

阿部顕三教授は，Workshop on Economics of Global Interactionsに参加するため，カナダへ出張を命ぜられ，平成 28 年 5 月 26 日に出発し，同月 30 日に帰国した.

友部謙一教授は，第 3 回AAS-in-ASIA Conferenceに関する研究打ち合わせのため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 10 日に出発し，同月 14 日に帰国した.

西原理准教授は，INFORMS International Meetingへの参加，研究発表，および情報収集を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 11 日に出発し，同月 17 日に帰国した.

高橋慎講師は，SoFiEの年次会議への参加および情報収集を行うため，香港へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 14 日に出発し，同月 18 日に帰国した.

勝又壮太郎准教授は，INFORMS ISMS 2016への参加，研究発表，および情報収集を行うため，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 15 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

松村真宏准教授は，Marketing Science Conferenceへの参加，研究発表，および情報収集を行うため，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 16 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

小林敏男教授は，ヨーロッパ観光産業におけるイノベーションに関する研究の聞き取り調査のため，ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 22 日に出発し，同月 28 日に帰国した.

中川功一准教授は，AIB Annual Conferenceへの参加および研究発表を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 24 日に出発し，7 月 1 日に帰国した.

関口倫紀教授は，AJBS Annual Conference，AIB Annual Conferenceへの参加および研究発表を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 6 月 24 日に出発し，7 月 2 日に帰国した.

大西匡光教授は，EURO 2016 への参加，研究発表，および情報収集，ならびにワルシャワ大学にて資料閲覧，情報収集を行うため，ポーランド共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 7 月 2 日に出発し，同月 9 日に帰国した.

高橋慎講師は，2016 Australasia Meeting of the Econometric Societyへの参加および情報収集を行うため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 7 月 6 日に出発し，同月 9 日に帰国した.

高橋慎講師は，FMA Asia/Pacific Conferenceへの参加および情報収集を行うため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 7 月 13 日に出発し，同月 16 日に帰国した.

中川功一准教授は，日本留学フェアに参加するため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 7 月 15 日に出発し，同月 18 日に帰国した.

阿部顕三教授は，タイにおける経済学研究の動向についての聞き取り調査のため，タイ王国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 7 月 24 日に出発し，同月 26 日に帰国した.

関口倫紀教授は，AOMへの参加，研究発表，および情報収集を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 4 日に出発し，同月 12 日に帰国した.

戎谷梓助教は，AOMへの参加およびビジネスコミュニケーションに関する研究打ち合わせを行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 5 日に出発し，同月 24 日に帰国した.

許衛東准教授は，南シナ海の離島経済の研究に関する資料閲覧，情報収集，および第 10 回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境」への参加のため，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 9 日に出発し，同月 30 日に帰国した.

深尾葉子准教授は，黄砂発生地域における表層土壌回復のための社会的経済的アプローチの研究に関する現地調査およびフィールドワークを行うため，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 10 日に出発し，同月 16 日に帰国した.

渡辺泰明特任教授は，MATLABによる金融工学のプログラミング研修に参加するため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 10 日に出発し，同月 23 日に帰国した.

恩地一樹准教授は，税と組織形態に関する研究打ち合わせおよび資料閲覧のため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 14 日に出発し，10 月 3 日に帰国した.

安田洋祐准教授は，EEA-ESEM GENEVA 2016への参加，研究報告，および意見交換を行うため，スイス連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 20 日に出発し，同月 27 日に帰国した.

鳩澤歩教授は，第 20 回ヨーロッパ経営史会議（第 1 回世界経営史会議）大会への参加，研究報告，および資料調査を行うため，ノルウェー王国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 24 日に出発し，同月 30 日に帰国した.

阿部顕三教授は，43rd EARIE Annual Conferenceへの参加および産業組織論の研究動向に関する調査を行うため，ポルトガル共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 25 日に出発し，同月 29 日に帰国した.

小林敏男教授は，BOPビジネスに関する追加調査のため，インドネシア共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 8 月 25 日に出発し，同月 29 日に帰国した.

山本千映教授は，労働者の自伝資料の残存状況に関する調査および資料収集を行うため，連合王国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 9 月 14 日に出発し，同月 23 日に帰国した.

阿部顕三教授は，経済学の研究動向に関する調査のため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 9 月 17 日に出発し，同月 20 日に帰国した.

福田祐一教授は，経済学の研究動向に関する調査のため，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 28 年 9 月 17 日に出発し，同月 20 日に帰国した.

山本達司教授は，ICBER 2016 への参加，研究発表，および情報収集を行うため，カナダへ出張を命ぜられ，平成 28 年 9 月 20 日に出発し，同月 26 日に帰国した.

西原理准教授は，20th EBES Conference への参加，研究発表，および情報収集を行うため，オーストリア共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 9 月 27 日に出発し，10 月 3 日に帰国した.

山本達司教授は，APMAA への参加および情報収集を行うため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 4 日に出発し，同月 6 日に帰国した.

Pierre-Yves Donzé 准教授は，医療に関する資料閲覧および情報収集を行うため，ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 10 日に出発し，同月 16 日に帰国した.

大屋幸輔教授は，2016 International Conference for JSCS 30th Anniversary in Seattle に参加するため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 15 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

木下亮助教は，2016 International Conference for JSCS 30th Anniversary in Seattle への参加，研究発表，および情報収集を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 15 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

西原理准教授は，Financial Management Association annual meeting への参加および情報収集を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 18 日に出発し，同月 24 日に帰国した.

戎谷梓助教は，SUMMIT への参加，iBEGIN における研究発表，および情報収集を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 24 日に出発し，11 月 1 日に帰国した.

中川功一准教授は，Euro-Asia Management Studies Association への参加，研究発表，および情報収集を行うため，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 27 日に出発し，同月 30 日に帰国した.

渡辺泰明特任教授は，研究打ち合わせのため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 10 月 28 日に出発し，11 月 6 日に帰国した.

福重元嗣教授は，所得階層別消費者物価指数に関する研究資料収集のため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 3 日に出発し，同月 6 日に帰国した.

恩地一樹准教授は，税と企業組織形態に関する研究打ち合わせ，ならびに National Tax Association における報告および情報収集を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 3 日に出発し，同月 15 日に帰国した.

椎葉淳教授は，研究打ち合わせおよび 28th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues に参加するため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 4 日に出発し，同月 9 日に帰国した.

安田洋祐准教授は，BIT's 3rd Annual Global Congress of Knowledge Economy-2016 における招待発表のため，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 9 日に出発し，同月 13 日に帰国した.

阿部顕三教授は，台湾における日本研究の動向に関する調査のため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 10 日に出発し，同月 11 日に帰国した.

山本達司教授は，2016 Vietnam Symposium in Banking and Finance への参加および情報収集を行うため，ベトナム社会主義共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 15 日に出発し，同月 20 日に帰国した.

友部謙一教授は，41th Social History Association への参加および研究発表を行うため，アメリカ合

衆国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 16 日に出発し，同月 28 日に帰国した.

福重元嗣教授は，学生交流促進に関する意見交換のため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 17 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

西村幸浩教授は，学生交流促進に関する意見交換のため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 17 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

Pierre-Yves Donzé 准教授は，「20 世紀の医療産業における革新的企業」のワークショップの共催，参加，およびプレゼンテーションを行うため，スペインへ出張を命ぜられ，平成 28 年 11 月 28 日に出発し，12 月 3 日に帰国した.

安田洋祐准教授は，10th Japan-Taiwan-Hong Kong Contract Theory Conference に参加するため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 12 月 2 日に出発し，同月 5 日に帰国した.

友部謙一教授は，近世死亡史料調査・近代死亡統計調査および生活環境史調査を行うため，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 12 月 14 日に出発し，同月 18 日に帰国した.

西原理准教授は，Auckland Finance Meeting への参加，研究発表，ならびに情報収集を行うため，ニュージーランドへ出張を命ぜられ，平成 28 年 12 月 14 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

佐々木勝教授は，経済実験の準備のため，ミャンマー連邦共和国へ出張を命ぜられ，平成 28 年 12 月 21 日に出発し，同月 24 日に帰国した.

阿部顕三教授は，日本企業の台湾進出事例に関する聞き取り調査のため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 28 年 12 月 22 日に出発し，同月 24 日に帰国した.

西原理准教授は，ASSA annual meeting への参加および情報収集を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 1 月 3 日に出発し，同月 10 日に帰国した.

阿部顕三教授は，企業の国際的買収に関する経済分析に関する研究打ち合わせのため，タイ王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 1 月 4 日に出発し，同月 6 日に帰国した.

山本達司教授は，ICEBA 2017 への参加および情報収集を行うため，タイ王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 1 月 22 日に出発し，同月 26 日に帰国した.

西原理准教授は，SBMEL-17 への参加，研究発表，および情報収集を行うため，フィリピン共和国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 1 月 25 日に出発し，同月 29 日に帰国した.

阿部顕三教授は，観光資源と輸送インフラの開発に関する現地調査のため，ラオス人民民主共和国，タイ王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 4 日に出発し，同月 8 日に帰国した.

深尾葉子准教授は，中国社会の秩序生成原理に関する街頭調査のため，香港，中華人民共和国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 10 日に出発し，同月 16 日に帰国した.

阿部顕三教授は，国際貿易と環境に関する経済分析についての研究打ち合わせのため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 12 日に出発し，同月 14 日に帰国した.

福田祐一教授は，国際貿易と環境に関する経済分析についての研究打ち合わせのため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 12 日に出発し，同月 14 日に帰国した.

佐々木勝教授は，2017 Asia-Pacific Meeting of the Economic Science Association への参加および研究発表を行うため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 15 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

友部謙一教授は，近世死亡史料調査・近代死亡統計調査および生活環境史調査を行うため，香港へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 15 日に出発し，同月 24 日に帰国した.

福重元嗣教授は，大阪大学バンコクオフィス開所 10 周年記念タイ同窓会に出席するため，タイ王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 18 日に出発し，同月 19 日に帰国した.

佐々木勝教授は，経済実験の実施のため，ミャンマー連邦共和国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 21 日に出発し，同月 24 日に帰国した.

阿部顕三教授は，国際貿易の産業組織論的分析に関する研究動向についての聞き取り調査のた

め，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 22 日に出発し，同月 26 日に帰国した.

小野哲生教授は，2nd Belgian-Japanese Public Finance Workshopへの参加および研究報告を行うため，ベルギー王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 28 日に出発し，3 月 5 日に帰国した.

山本和博准教授は，2nd Belgian-Japanese Public Finance Workshopへの参加および研究報告を行うため，ベルギー王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 28 日に出発し，3 月 5 日に帰国した.

西村幸浩教授は，ワークショップにおいて研究発表および共同研究を行うため，ベルギー王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 28 日に出発し，3 月 30 日に帰国した.

恩地一樹准教授は，税と組織改編の研究，情報収集，および打ち合わせを行うため，シンガポール共和国，オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ，平成 29 年 2 月 28 日に出発し，3 月 31 日に帰国した.

山本達司教授は，14th ACMARへの参加および情報収集を行うため，ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 7 日に出発し，同月 12 日に帰国した.

鳩澤歩教授は，研究動向に関する調査のため，ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 12 日に出発し，同月 17 日に帰国した.

深尾葉子准教授は，華僑動向に関する調査のため，イタリア共和国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 16 日に出発し，同月 22 日に帰国した.

堂目卓生教授は，部局間協定署名式への出席および打ち合わせを行うため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 19 日に出発し，同月 21 日に帰国した.

阿部顕三教授は，他国籍企業の台湾進出に関する経済モデルについての研究打ち合わせのため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 19 日に出発し，同月 21 日に帰国した.

福重元嗣教授は，部局間協定署名式に出席するため，台湾へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 19 日に出発し，同月 21 日に帰国した.

阿部顕三教授は，米国における経済学の研究動向に関する聞き取り調査のため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 24 日に出発し，同月 28 日に帰国した.

福田祐一教授は，米国における経済学の研究動向に関する聞き取り調査のため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 24 日に出発し，同月 28 日に帰国した.

佐々木勝教授は，日本・タイにおけるリスク回避性の違いに関する研究打ち合わせのため，タイ王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 26 日に出発し，同月 28 日に帰国した.

Pierre-Yves Donzé教授は，アメリカ経営史学会への参加および「特許戦略と家電産業におけるグローバル競争」に関する研究報告を行うため，アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 29 日に出発し，同月 31 日に帰国した.

山本千映教授は，Annual Conference Economic History Societyに参加するため，連合王国へ出張を命ぜられ，平成 29 年 3 月 31 日に出発し，同月 31 日に帰国した.

学会・講演会行事

恒例の経済学会講演会が，下記のとおり開催された.

日時　平成 29 年 1 月 19 日
場所　法経講義棟 1 番講義室
講師　慶應義塾大学大学院経済学研究科　教授　木村福成 氏
演題　グローバリゼーションと所得分配：国際貿易論の視点から

OFC 講演会が，下記のとおり開催された.

第 51 回　平成 28 年 5 月 27 日　学士会館
「地球温暖化COPの歴史とパリ協定～協定をめぐる外交の裏側」
外務省参与　地球環境問題担当大使　堀江正彦 氏

第 52 回　平成 28 年 9 月 9 日　中之島センター
「日本経済の再生に向けて―私たちはどう評価し、何を見直すべきなのか―」
大阪大学大学院経済学研究科　講師　臼井正樹 氏

寄附講義が，下記のとおり開催された.

平成 28 年度 1 学期　特殊講義「財政・金融と関西経済の現状」
会場：大阪大学豊中キャンパス法経講義棟 3 階 5 番教室
日時：毎週金曜日第 2 時限（10 時 30 分～12 時 00 分）

第 1 回　平成 28 年 4 月 15 日
「オリエンテーション・（財務局が担う役割）」
財務省　近畿財務局　総務部次長　楠敏志 氏

第 2 回　平成 28 年 4 月 22 日
「国の予算」
財務省　主計局　法規課 課長補佐　和田真一 氏

第 3 回　平成 28 年 5 月 6 日
「国有財産行政」
財務省　近畿財務局　管財部長　小堀敏久 氏

第 4 回　平成 28 年 5 月 13 日
「日本の財政状況と国債管理政策」
財務省　理財局　国債企画課　国債企画官　百目鬼宏 氏

第 5 回　平成 28 年 5 月 20 日
「税務行政」
大阪国税局　課税第二部長　秦幹雄 氏

第 6 回　平成 28 年 5 月 27 日
「経済情勢」
財務省　近畿財務局　総務部長　郷佳也 氏

第 7 回　平成 28 年 6 月 3 日
「我が国の経済情勢などについて」
財務省　近畿財務局　総務部長　郷佳也 氏

第 8 回　平成 28 年 6 月 10 日
「証券＆ファンド業務と監督行政」
財務省　近畿財務局　金融監督官　矢守泰治 氏

第 9 回　平成 28 年 6 月 17 日
「最近の貿易動向と税関行政」
財務省　大阪税関　大阪税関総務部長　酒井清 氏

第 10 回　平成 28 年 6 月 24 日
「国際金融・経済情勢」
財務省　大臣官房総合政策課　課長補佐　下津公敬 氏

第 11 回　平成 28 年 7 月 1 日
「金融機関と監督行政」
財務省　近畿財務局　金融監督官　佐藤雄作 氏

第 12 回　平成 28 年 7 月 8 日
「中央銀行業務と金融政策運営」
日本銀行　大阪支店　営業課　企画役　小野伸和 氏

第 13 回　平成 28 年 7 月 15 日
「我が国の通貨制度と造幣局」
独立行政法人造幣局　理事長　百嶋計 氏

第 14 回　平成 28 年 7 月 22 日
「税・財政の現状と課題」
財務省　主税局　税制第二課　主税企画官　新発田龍史 氏

第 15 回　平成 28 年 7 月 29 日
「金融リテラシー・講義まとめ」
財務省　近畿財務局　金融調整官　中田慎一 氏

平成 28 年度 1 学期　特殊講義「アセットマネジメントの理論と実務」

会場：大阪大学豊中キャンパス法経講義棟 2 階 4 番教室

日時：毎週水曜日第 3 時限（13 時 00 分～14 時 30 分）

第 1 回　平成 28 年 4 月 13 日
「アセットマネジメントとは（オリエンテーション）」
フィデリティ・ジャパン・ホールディングス㈱　取締役副会長　蔵元康雄 氏

第 2 回　平成 28 年 4 月 20 日
「投資資産（株式，債券）のリスクとリターン」
イボットソン・アソシエイツ・ジャパン㈱　取締役会長　山口勝業 氏

第 3 回　平成 28 年 4 月 27 日
「アセットアロケーションと分散投資」
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ㈱　エグゼクティブ・アドバイザー
山田正次 氏

第 4 回　平成 28 年 5 月 11 日
「ファンドマネージャー・アナリストの業務」
TM インベストメント㈱　代表取締役　水野隆秀 氏

第 5 回　平成 28 年 5 月 18 日
「REIT，不動産証券化商品」
前　三菱商事UBS・リアルティ㈱　代表取締役副社長　向井稔 氏

第 6 回　平成 28 年 5 月 25 日
「社会的責任投資（SRI）」
三井住友信託銀行㈱　株式運用部　SRI ファンドマネージャー　山田栄一 氏

第 7 回　平成 28 年 6 月 1 日
「金融デリバティブ取引」
トウキョウ・マリン・アジア・プライベート・リミテッド・シニア・バイス・プレジデント
河西洋文 氏

第 8 回　平成 28 年 6 月 8 日
「金融商品取引法とアセットマネジメント」
みずほ投信投資顧問㈱　法務室長　村岡佳紀 氏

第 9 回　平成 28 年 6 月 15 日
「投資信託」
シンクタンク・ソフィアバンク　代表　藤沢久美 氏

第10回　平成28年6月22日
「日本の年金とアセットアロケーション」
前　大阪ガス㈱　財務部担当部長　石田英和 氏

第11回　平成28年6月29日
「投資資産の種類とグローバル・マーケットの動向」
DIAMアセットマネジメント㈱　チーフエコノミスト　小出晃三 氏

第12回　平成28年7月6日
「資産運用業とコンプライアンス」
日本投資顧問業協会　副会長（元証券取引等監視委員会事務局長）長尾和彦 氏

第13回　平成28年7月13日
「ファンド概要」
アストマックス投信投資顧問㈱　取締役CIO　白木信一郎 氏

第14回　平成28年7月20日
「株主によるガバナンスと企業行動・企業価値」
㈱日本投資環境研究所　調査部　主任研究員　上田亮子 氏

第15回　平成28年7月27日
「アセットマネジメント・ビジネスの今後の展望」
ベイビュー・アセット・マネジメント㈱　取締役　工藤雄二 氏

◇教員が，2016 年度（平成 28 年度）に発表した著書および論文，研究報告等と，受け又は任ぜられた学位，学術賞，学外活動は，下記のとおりである．

阿部　顕三

［論文］

“Globarization, Child Labour, and Adult Unemployment”『立命館経済学』第 65 巻第 4 号，pp.193-205，2017 年 2 月，with Hiroaki Ogawa

［その他］

「貿易理論から見たTPP」『統計』第 67 巻第 5 号，pp.34-38，2016 年 5 月

「日本でも米国でも「TPP」の評判が悪いわけ」『プレジデント』2016 年 12 月 19 日号，pp.20-21，2016 年 11 月

［研究報告・研究発表］

“The Impact of Transfer Program on Child Labour in a Dual Economy,” 福岡大学経済学部研究会，2016 年 6 月 10 日，福岡大学

“Trade and Environmental Policies with Domestic and International Transportation,” 国際経済学セミナー，2017 年 1 月 23 日，学習院大学国際社会学部

［学外活動］

日本学術会議 連携会員　任命権者・日本学術会議　2006 年 8 月 20 日－（継続）

日本国際経済学会 顧問　任命権者・日本国際経済学会会長　2010 年 10 月－（継続）

神戸大学経済経営研究所 非常勤講師　任命権者・神戸大学学長　2011 年 4 月 1 日－（継続）

大阪大学後援会 監事　任命権者・大阪大学後援会理事長　2011 年 11 月 29 日－（継続）

日本経済学会 代議員　任命権者・日本経済学会代表者　2014 年 6 月 14 日－ 2016 年 6 月 17 日

大学改革支援・学位授与機構（大学評価・学位授与機構）公益法人国立大学教育研究評価委員会専門委員　任命権者・大学改革支援・学位授与機構（大学評価・学位授与機構）長　2016 年 1 月 1 日－ 2017 年 3 月 31 日

日本学術振興会 学術システム研究センター主任研究員　任命権者・日本学術振興会理事長　2016 年 4 月 1 日－

日本経済学会 理事　任命権者・日本経済学会代表者　2016 年 6 月 18 日－

アジア太平洋研究所 リサーチャー　任命権者・アジア太平洋研究所代表理事　2016 年 6 月 24 日－

国際交流基金 海外派遣日本研究専門家（国立政治大学客員教授）　任命権者・国際交流基金理事長　2016 年 9 月 25 日－ 11 月 26 日

鳩澤　歩

［研究報告・研究発表］

パネルディスカッション「現代アメリカ経済史を構想する―時代区分と論点―」討論，社会経済史学会第 85 回全国大会，2016 年 6 月 12 日，北海道大学

“Some Aspects of the National Unification of German Railways before the Reichsbahn at the Turn of the Centuries,” 1st World Congress on Business History, European Business History Association, August 26, 2016, University of Bergen (Norway)

「鉄道は，どのように人をつなげたのか？―経済史からのアプローチ」，21 世紀懐徳堂 i-spot 講座，2016 年 9 月 5 日，大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」

「鉄道がもたらした社会構造の変化」，鉄道芸術祭 Vol.6「ストラクチャーの冒険」，2016 年 11

月 17 日，アートエリアB1

「ドイツ帝国における未完の鉄道統合―日本の経験との比較」,「秩序・治理・産業―近代東アジアの政治経済発展の再検討」ワークショップ，2016 年 11 月 26 日，国立台北大学（台湾）

［学外活動］

企業家研究フォーラム 幹事　任命権者・企業家研究フォーラム学会長　2006 年 4 月－（継続）

関西学院大学商学部 非常勤講師　任命権者・関西学院大学学長　2007 年 4 月－（継続）

経営史学会 編集委員　任命権者・経営史学会長　2007 年 4 月－（継続）

公益法人財団寺西育英会 監事　任命権者・公益法人財団寺西育英会理事長　2011年4月－(継続)

同志社大学商学部 非常勤講師　任命権者・同志社大学学長　2014 年 4 月－（継続）

放送大学 客員教授　任命権者・放送大学学長　2014 年 4 月－（継続）

社会経済史学会 編集委員　任命権者・社会経済史学会代表理事　2014 年 12 月－（継続）

堂目　卓生

［研究報告・研究発表］

「アダム・スミスに学ぶ」，知的基盤研究会，2016 年 10 月 27 日，司法研修所

戎谷　梓

［著書］

関口倫紀，竹内規彦，井口知栄（編著）『国際人的資源管理』，中央経済社，2016 年 6 月，第 9 章，第 13 章，分担執筆

［研究報告・研究発表］

“Team Mental Model Development for Global Innovation,” International Business, Economic Geography and Innovation, October 30, 2016, Temple University

［学外活動］

立命館大学経営学部 非常勤講師　任命権者・立命館大学長　2016 年 4 月－

Session Chair, Academy of Management　任命権者・Academy of Management　2016 年 8 月 5 日－8 月 9 日

深尾　葉子

［学外活動］

中国楡林学院生態文化回復センター 客座教授　任命権者・楡林学院学長　2004 年－（継続）

中国黄土高原国際緑色文化網絡 理事・発起人　任命権者・中国黄土高原国際民間緑色文化網絡理事長　2004 年－（継続）

桃山学院大学 ゲスト講師　任命権者・桃山学院大学学長　2008 年－（継続）

国際日本文化研究センター 共同研究員　任命権者・国際日本文化研究センター長　2008 年－（継続）

NPO法人CREC設立，理事・発起人　任命権者・NPO法人CREC理事長　2010 年－（継続）

福重　元嗣

［学術賞］

2016 年度応用地域学会論文賞　2016 年 11 月 26 日　福重元嗣・石川路子

［学外活動］

兵庫県立大学会計研究科 非常勤講師『財政学』講義　任命権者・兵庫県立大学学長　2014 年 4

月－（継続）

福田　祐一

［学外活動］

Associate Editor, *Asia-Pacific Financial Markets*　任命権者・日本金融・証券計量・工学学会 2012 年 5 月－（継続）

日本経済学会 2017 年度春季大会プログラム委員長　任命権者・日本経済学会　2016 年 9 月－

二神　孝一

［論文］

"Dynamic Analysis of a Renewable Resource in a Small Open Economy: The Role of Environmental Policies for the Environment," *Environmental and Resource Economics*, Vol. 64, Issue 3, pp.373-399, July 2016, joint with Yasuhiro Nakamoto

"Dynamic Analysis of Reductions in Public Debt in an Endogenous Growth Model with Public Capital," *Macroeconomic Dynamics*, published online September 2016, joint with Noritaka Maebayashi and Takeo Hori

"Debt Policy Rules in an Open Economy," *Journal of Public Economic Theory*, Vol.19, Issue 1, pp.158-177, Feburuary 2017, joint with Keiichi Morimoto, Takeo Hori, and Noritaka Maebayashi

［その他］

「やさしいマクロ経済学」第 1 回～第 12 回，『日本経済新聞』朝刊，2016 年 4 月 20，21，22，25，26，27，28，29 日，5 月 2，3，4，5 日

交遊抄「研究と飲酒」『日本経済新聞』朝刊，2016 年 9 月 6 日

［研究報告・研究発表］

"The Tragedy of the Commons Reconsidered based on Quasi-geometric Discounting," 福岡大学経済学部・第 105 回研究会，2016 年 10 月 7 日，福岡大学

"Rising Longevity and Fertility Dynamics in an R&D based Growth Model," 関西大学経済学会・第 8 回研究会，2017 年 2 月 14 日，関西大学

［学外活動］

立命館大学経済学部 非常勤講師　任命権者・立命館大学総長　1997 年 4 月－（継続）

同志社大学経済学部 非常勤講師　任命権者・同志社大学学長　2003 年 4 月－（継続）

Associate Editor, *Journal of Economics*　2005 年－（継続）

廣田　誠

［研究報告・研究発表］

「戦後の兵庫県淡路地域における量販店企業家の足跡」，市場史研究会第 65 回大会（2016 年度春季），2016 年 6 月 4 日，同志社大学今出川キャンパス良心館

「戦後日本の日用品小売市場（いちば）」，市場史研究会第 66 回大会（2016 年度秋季，イギリス流通研究会と共催），2016 年 11 月 5 日，駒澤大学深沢キャンパス

［学外活動］

市場史研究会 事務局世話人　任命権者・市場史研究会代表　2000 年 7 月 1 日－（継続）

関西学院大学商学部 非常勤講師「商業史」「商業史各論」「現代日本経済史」 2002 年 4 月 1 日－（継続）

神戸女学院大学人間科学部 非常勤講師「食糧経済学」 2002 年 4 月 1 日－（継続）

神戸学院大学経済学部 非常勤講師「日本経済史」 2008 年 4 月 1 日－（継続）
『山口県史』現代 専門委員　任命権者・山口県知事　2008 年 4 月 1 日－（継続）
社会経済史学会 理事　任命権者・社会経済史学会代表理事　2012 年 12 月 1 日－（継続）
経営史学会 理事　任命権者・経営史学会会長　2013 年 1 月 1 日－（継続）
『経済史研究』（大阪経済大学日本経済史研究所）編集委員　任命権者・大阪経済大学日本経済史研究所所長　2014 年 3 月 1 日－（継続）
八尾市史専門部会 部会員（近現代部会）　任命権者・八尾市長　2015 年 4 月 1 日－（継続）
企業家研究フォーラム 理事　任命権者・企業家研究フォーラム会長　2015年 7 月18日－（継続）
阪和育英会 理事　任命権者・阪和育英会理事長　2016 年 7 月 1 日－
鉄道史学会 評議員　任命権者・鉄道史学会会長　2016 年 12 月 1 日－

石黒　真吾

［論文］

"Relationships and Growth: On the Dynamic Interplays between Relational Contracts and Competitive Markets in Economic Development," *Review of Economic Studies*, Vol. 83, No. 2, pp. 629-657, April 2016

"Macroeconomic Dynamics with Limited Commitment in Financial and Labor Contracts," *Discussion Papers In Economics And Business,* Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 16-25, October 2016

［研究報告・研究発表］

"Macroeconomic Dynamics with Limited Commitment in Financial and Labor Contracts,"チュラロンコン大学・大阪大学共同コンファレンス，2016 年 12 月 2 日，大阪大学

"Moral Hazard and Subjective Evaluation," Contract Theory Workshop, 2017 年 2 月 18 日，関西学院大学

［学外活動］

Japanese Economic Review 共同編集委員　任命権者・*Japanese Economic Review*責任編集者　2012 年 3 月－（継続）

祝迫　達郎

［論文］

"Effects of Patent Protection on Optimal Corporate Income and Consumption Taxes in an R&D-based Growth Model," *Southern Economic Journal*, Vol. 83, Iss. 2, pp. 590-608, October 2016

"Product Cycles and Growth Cycles," *Journal of International Economics*, Vol. 105, pp. 22-40, March 2017, joint with Hitoshi Tanaka

［学外活動］

立命館大学経済学部 非常勤講師　任命権者・立命館大学学長　2009 年 4 月 1 日－（継続）
日本経済学会 2017 年春季大会プログラム委員　任命権者・2017 年春季大会プログラム委員会委員長　2016 年 9 月－

JEON HAEJUN

［論文］

"The effects of reversible investment on capital structure and credit risks," *Financial Review*, Vol. 51, No. 2, pp. 263-293, May 2016, with Michi NISHIHARA

"Patent litigation and cross licensing with cumulative innovation," *Journal of Economics*, Vol. 119,

No. 3, pp. 179-218, November 2016

［研究報告・研究発表］

“Optimal patent policy in the presence of vertical separation,” 20th Eurasia Business and Economics Society Conference, September 28, 2016, Vienna University of Technology

“Optimal patent policy in the presence of vertical separation,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017 年春季研究発表会，2017 年 3 月 16 日，沖縄県市町村自治会館

勝又　壮太郎

［論文］

「計量書誌学アプローチによるイノベーション普及理論レビューと今後の展望」『マーケティング・サイエンス』24 巻 1 号，pp. 27-52，2016 年 12 月，勝又壮太郎，西本章宏，ウィラワン・ドニ・ダハナ，飯野純彦，井上哲浩

“Website Classification Using Latent Dirichlet Allocation and its Application for Internet Advertising,” 2016 IEEE 16th International Conference on Data Mining Workshops, pp. 538-544, December 2016, Katsumata, S., Motohashi, E., Akihiro, N., and Toyosawa, E.

「カテゴリーベース処理の選択行動モデルと市場戦略への示唆」『オペレーションズ・リサーチ』Vol. 62 No. 2，pp. 100-109，2017 年 2 月，勝又壮太郎，ウィラワン・ドニ・ダハナ，中島望

［その他］

「「達成」と「共有」: ゲームユーザーがもつ 2 つの志向性」『ファミ通モバイルゲーム白書 2017』，pp. 30-33，2016 年 12 月，勝又壮太郎，一小路武安

「「売れない時代」打破できるか（下）購買データの過信は禁物」『日本経済新聞』朝刊 17 面，2017 年 2 月 6 日

［研究報告・研究発表］

「Bibliometric アプローチによるマーケティングおよび周辺領域における普及理論レビュー」，日本マーケティング・サイエンス学会，第 99 回研究大会，2016 年 6 月，東北大学

「Willingness to Pay 測定方法の比較」日本マーケティング・サイエンス学会第 99 回研究大会，2016 年 6 月，東北大学

「カテゴリーベース処理の選択行動モデルと市場戦略の示唆」，日本マーケティング・サイエンス学会第 99 回研究大会，2016 年 6 月，東北大学

“Social and Institutional Impact on Product Diffusion,” INFORMS Marketing Science Conference 2016, June 2016, Fudan University, Shanghai, China

“A Comparison of Measuring Willingness to Pay for Developing Pricing Strategies in a Mature Market,” INFORMS Marketing Science Conference 2016, June 2016, Fudan University, Shanghai, China

「コンテンツ製品における消費者態度の測定～複線化するゲーム市場における実証分析～」, 日本マーケティング・サイエンス学会第 100 回研究大会，2016 年 11 月，大阪大学

［学外活動］

行動計量学会 和文誌編集委員　任命権者・日本行動計量学会　2015 年 5 月 25 日－（継続）

日本マーケティング・サイエンス学会 研究委員　任命権者・日本マーケティング・サイエンス学会　2015 年 10 月 1 日－（継続）

葛城　政明

［論文］

「経済学方法論と社会存在論」『大阪大学経済学』第 66 巻第 4 号，pp. 1-14，2017 年 3 月

木下　亮

［研究報告・研究発表］

「高次VARモデルを用いた周波数別のグレンジャー因果性検定」，統計関連学会連合大会，2016年9月7日，金沢大学

“Simulation Study of Causality Change with Infinite Order Vector Autoregressive Processes,” 2016 International Conference for JSCS 30th Anniversary, October 17, 2016, Seattle Central Library

小林　敏男

［論文］

「P2Mをフレームとした産学共同研究創成活動のモデル化と実情分析」『一般社団法人国際P2M学会誌』Vol.11，No.1，pp.162-174，2016年10月，谷口邦彦，中川功一

［学外活動］

特定非営利活動法人おおさか大学起業支援機構 理事　任命権者・代表理事 篠原祥哲　2002年5月23日－（継続）

公益財団法人大阪産業振興機構 阪大イノベーションファンド評価委員会 評価委員　任命権者・日本ベンチャーキャピタル株式会社　2003年6月4日－（継続）

公益財団法人日本応用酵素協会 評議員　任命権者・会長 土屋裕弘　2012年10月1日－（継続）

大阪大学経済学部同窓会 副会長　任命権者・会長 犬伏恭夫　2015年7月4日－（継続）

小南　大智

［論文］

“Controlling large-scale self-organized networks with lightweight cost for fast adaptation to changing environments,” *ACM Transactions on Autonomous and Adaptive Systems*, Vol. 11, No. 2, July 2016, Naomi Kuze, Daichi Kominami, Kenji Kashima, Tomoaki Hashimoto, and Masayuki Murata

“Virtual wireless sensor networks: Adaptive brain-inspired configuration for Internet of Things,” *Sensors*, Special Issue “Intelligent Internet of Things (IoT) Networks,” Vol.16, Iss.8, p1323, August 2016, Shinya Toyonaga, Daichi Kominami, and Masayuki Murata

“Robustness and efficiency in interconnected networks with changes in network assortativity,” *Applied Network Science*, Vol. 2, No. 6, March 2017, Masaya Murakami, Shu Ishikura, Daichi Kominami, Tetsuya Shimokawa, and Masayuki Murata

［研究報告・研究発表］

“Constructing a virtual IoT network using a cerebral cortical connectivity model,” 電子情報通信学会CCS研究会，2016年8月，余市町中央公民館

“Application of Evolutionary Mechanism to Dynamic Virtual Network Function Placement,” IEEE ICNP Workshop: Control Operation and Application in SDN protocols (CoolSDN Workshop)，2016年11月，東広島芸術文化ホール

“Impact of Fluctuating Goals on Adaptability of Evolvable VNF Placement Method,” 9th International Workshop on Autonomous Self-Organizing Networks，2016年12月，Kent Ridge Guild House (KRGH)

“Implementation of a sound-source localization method for calling frog in an outdoor environment using a wireless sensor network,” the 3rd Annual Meeting of Bioacoustics，2016年12月，伊良湖シーパーク

“Constructing Virtual IoT Network Topologies with a Brain-Inspired Connectivity Model,” 11th International Conference on Ubiquitous Information Management and Communication，2017年1月，別府国際コンベンションセンター

“Analysis and strategies for improving robustness and efficiency in interconnected networks,” 電子情報通信学会IN研究会，2017年3月，残波ロイヤルホテル

“Self-organized multi-agent control method inspired by collective decision making,” 電子情報通信学会IN研究会，2017年3月，残波ロイヤルホテル

“Autonomous distributed control methods for wireless sensor networks based on nonlinear dynamics of frog choruses,” 電子情報通信学会IN研究会，2017年3月，残波ロイヤルホテル

“QoE enhancement for video streaming based on a human perceptual mechanism,” 電子情報通信学会IN研究会，2017年3月，残波ロイヤルホテル

［学外活動］

電子情報通信学会ネットワーク科学時限研究専門委員会 幹事補佐　任命権者・電子情報通信学会　2015年4月－（継続）

電子情報通信学会情報指向ネットワーク技術研究専門委員会 幹事補佐　任命権者・電子情報通信学会　2015年4月－（継続）

松村　真宏

［著書］

『仕掛学：人を動かすアイデアのつくり方』，東洋経済新報社，2016年9月

［論文］

“Media Mediate Sentiments: Exploratory Analysis of Tweets Posted Before, During, and After the Great East Japan Earthquake,” *International Journal of Knowledge Society Research*, Vol.7, Issue 2, pp.57-71, April 2016, Naohiro Matsumura, Asako Miura, Masashi Komori, and Kai Hiraishi

「顧客のエンゲージメント価値の測定」『季刊マーケティングジャーナル』36巻4号，pp.2-20，2017年3月，山本晶，松村真宏

［研究報告・研究発表］

「遊び心を利用したビラ配布の実証実験」，2016年度人工知能学会全国大会（第30回），2016年6月9日，北九州国際会議場，高橋緑，竹内穂波，矢倉誠人，小川泰隆，松村真宏

「小鉢ガチャ」，2016年度人工知能学会全国大会（第30回），2016年6月9日，北九州国際会議場，板谷祥奈，宮武由佳，田縁正明，廣本嶺，松村真宏

「シカケハッカソンにおけるチーム編成とクリエイティビティ」，2016年度人工知能学会全国大会（第30回），2016年6月9日，北九州国際会議場

“Examining the social values of loyal customers,” INFORMS Marketing Science Conference, June 2016, Shanghai, Naohiro Matsumura, Hikaru Yamamoto

“Whispering Approach to Stop Texting While Walking -Talkative Smartphone-,” The Eighth International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2016), pp.9-12, 2016年9月16日，金沢, Masaaki Toberi, Naohiro Matsumura

“Shikakeological Approaches for Promotional Flyers Distribution,” The Eighth International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2016), pp.13-16, 2016年9月16日，金沢，Sachina Itaya, Midori Takahashi, Yuka Miyatake, Msato Yagura, Naohiro Matsumura

村宮　克彦

［研究報告・研究発表］

「クリーン・サープラス関係を利用した時間的に変動する期待リターンの推計」，日本会計研究学会第75回大会，2016年9月13日，グランシップ

「期待リターン推計方法の総合的評価：時間的に変動する期待リターンを中心として」，日本経営財務研究学会第 40 回全国大会，2016 年 10 月 9 日，武蔵大学

中川　功一

［論文］

“Customised component transaction with insufficient trust: case study of the LCD-panel industry,” *International Journal of Business Innovation and Research*, Vol. 10, No. 1, pp. 87-101, April 2016, Nakagawa, K. and Song, W.

［研究報告・研究発表］

“Should Japanese Multinationals Change their Original Business Style in Emerging Markets?” 29th Association of Japanese Business Studies Annual Conference 2016, June 25, 2016, New Orleans, Nakagawa, K., Nakagawa, M., Fukuchi, H., Sasaki, M., and Tada, K.

“Organizational Cultural Convergence and Crossvergence for the Subsidiary's Local Market Innovation: An Empirical Study of Japanese Subsidiaries in Emerging Markets,” AIB annual conference, June 28, 2016, New Orleans, Nakagawa, K., Tada, K., Fukuchi, H., and Imagawa, T.

“Balancing formal and social influences toward organizational cultural crossvergence,” 33rd Euro-Asia Management Studies Association Annual Conference 2016, October 29, 2016, Suzhou, China, EAMSA Best Paper Award 2016

［学術賞］

AJBS Best Paper Award 2016　Association of Japanese Business Studies　June 25, 2016　Koichi Nakagawa, Mitsuru Nakagawa, Hiroyuki Fukuchi, Masato Sasaki, Kazumi Tada

EAMSA Best Paper Award 2016　Euro-Asia Management Study Association　October 29, 2016

西原　理

［論文］

“Default and liquidation timing under asymmetric information,” *Discussion Papers In Economics And Business,* Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 16-07, April 2016, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“The effects of reversible investment on capital structure and credit risks,” *Financial Review*, Vol. 51, No. 2, pp. 263-293, June 2016, Haejun JEON, Michi NISHIHARA

“Asset sale, debt restructuring, and liquidation,” *Journal of Economic Dynamics and Control*, Vol. 67, pp. 73-92, June 2016, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Selling out or going public? A real options signaling approach,” *Discussion Papers In Economics And Business,* Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 16-28, November 2016

［その他］

「デリバティブ理論入門」『オペレーションズ・リサーチ』第 61 巻第 6 号，pp. 341-344，2016 年 6 月

［研究報告・研究発表］

“Default and liquidation timing under asymmetric information,” INFORMS International Conference, June 13, 2016, Hilton Waikoloa Village, Hawaii, USA, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Investment timing under financing constraints based on collateral,” INFORMS International Conference, June 13, 2016, Hilton Waikoloa Village, Hawaii, USA, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“The choice between selling out and going public,” 19th Czech-Japan Seminar on Data Analysis and Decision Making under Uncertainty, September 6, 2016, Matsumoto University, Matsumoto

“Investment timing under collateral constraints,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2016 年秋季研究発表会，2016 年 9 月 15 日，山形大学，山形，芝田隆志，西原理

“The choice between selling out and going public,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2016 年秋季研究発表会，2016 年 9 月 15 日，山形大学，山形

“Optimal patent policy in the presence of vertical separation,” 20th EBES Conference, September 28, 2016, TU Wien, Vienna, Austria, Haejun JEON, Michi NISHIHARA

“The choice between selling out and going public,” 20th EBES Conference, September 28, 2016, TU Wien, Vienna, Austria

“Investment timing, collateral, and financing constraints,” 20th EBES Conference, September 29, 2016, TU Wien, Vienna, Austria, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Optimal patent policy in the presence of vertical separation,” 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」，2016 年 10 月 30 日，京都大学，京都，ジョン・ヘジュン，西原理

“The choice between default and selling out,” 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」，2016 年 10 月 30 日，京都大学，京都，西原理，芝田隆志

“Default and liquidation timing under asymmetric information,” Auckland Finance Meeting, Auckland Center for Financial Research, November 18, 2016, Auckland, New Zealand, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“The choice between default and selling out,” 18th Asia Pacific Management Conference, November 25, 2016, Tohoku University, Sendai, Japan, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Optimal patent policy in the presence of vertical separation,” 中之島ワークショップ「金融工学・数理計量ファイナンスの諸問題 2016」，2016 年 12 月 1 日，大阪大学中之島センター，大阪，ジョン・ヘジュン，西原理

“The choice between default and selling out,” Cebu International Conference on Studies in Business, Management, Education and Law, January 27, 2017, Cebu, Philippines, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Bankruptcy decision under asymmetric information,” Winter Workshop on Operations Research, Finance and Mathematics, February 21, 2017, Sapporo, Japan, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Information asymmetry and investment strategies,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017 年春季研究発表会，2017 年 3 月 16 日，沖縄県市町村自治会館，那覇，芝田隆志，西原理

“Optimal Patent Policy in the Presence of Vertical Separation,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017 年春季研究発表会，2017 年 3 月 16 日，沖縄県市町村自治会館，那覇，ジョン・ヘジュン，西原理

“Bankruptcy decision under asymmetric information,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017 年春季研究発表会，沖縄県市町村自治会館，2017 年 3 月 16 日，沖縄県市町村自治会館，那覇，西原理，芝田隆志

“Investment timing, collateral, financing constraints,” Research Seminar, ReFi, ESCP Europe, March 23, 2017, Paris, France, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

西村　幸浩

［論文］

“Strategic Delegation When Public Inputs for a Global Good Are Imperfect Substitutes,” *International Tax and Public Finance*, vol. 24, Iss. 1, pp. 96-111, February 2017, Yukihiro Nishimura and Kimiko Terai

［研究報告・研究発表］

“Education Choices, Longevity and Optimal Policy in a Ben-Porath Economy,”The 4th Chulalongkorn University - Osaka University Joint Workshop，2016 年 12 月 2 日，大阪大学

“The Direction of Strategic Delegation and Voter Welfare in Asymmetric Tax Competition Models,” 関西公共経済学研究会，2017 年 2 月 11 日，関西学院大学大阪梅田キャンパス

“The Direction of Strategic Delegation and Voter Welfare in Asymmetric Tax Competition Models,” The 2nd Belgian-Japanese Public Finance Workshop, March 3, 2017, CORE-UCL, Belgium

［学外活動］

International Institute of Public Finance, Scientific Committee　任命権者・International Institute of Public Finance　2015 年 10 月－ 2016 年 8 月 12 日

日本財政学会 プログラム委員　任命権者・日本財政学会第 73 回大会実行委員長　2015 年 11 月 16 日－ 2016 年 10 月 23 日

The 2nd Belgian-Japanese Public Finance Workshop, Member of organizing committee, co-organizer 任命権者・Jean Hindriks　2016 年 3 月 6 日－ 2017 年 3 月 3 日

International Institute of Public Finance, Board of Management　任命権者・President of International Institute of Public Finance　2016 年 8 月 12 日－

International Institute of Public Finance, Scientific Committee　任命権者・International Institute of Public Finance　2016 年 10 月－

大西　匡光

［論文］

“Valuation of Game Swaptions under the Generalized Ho-Lee Model,” *Journal of Mathematical Finance*, Vol. 6, No. 5, pp. 1002-1016, November 2016, Ebina, A., Ochiai, N.

“Optimal Off-Exchange Execution with Closing Price,” *Journal of Mathematical Finance*, Vol. 7, No. 1, pp. 54-64, February 2017, Kuno, S., Shimizu, P.

［その他］

“Valuation of Game Swaption under the Generalized Ho-Lee Model”『京都大学数理解析研究所講究録』「不確実・不確定性の下での数理意思決定モデルとその周辺」No. 1990，pp. 32-39，2016 年 4 月，Ebina, A., Ochiai, N.

「一般化 Ho-Lee モデルに基づくゲーム・スワップションの価格評価について」『オペレーションズ・リサーチ』Vol. 61，No. 11，pp. 756-757，2016 年 11 月

［研究報告・研究発表］

“Valuation of Game Swaptions under the Generalized Ho-Lee Model,” 南山大学・横浜国立大学ファイナンス・ワークショップ，2016 年 10 月 29 日，南山大学経営研究センター

“Valuation of Game Swaptions under the Generalized Ho-Lee Model,” 確率的環境下における数理モデルの理論と応用，2016 年 11 月 10 日，京都大学数理解析研究所

“Execution Strategies with Off-Exchange Trading,” ファイナンスの数理解析とその応用，2016 年 11 月 29 日，京都大学数理解析研究所

［学外活動］

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部 運営委員　任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部　2001 年 4 月－（継続）

日本オペレーションズ・リサーチ学会 代議員　任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会　2002 年 4 月－（継続）

日本学術会議 連携会員　任命権者・日本学術会議　2006 年 9 月－（継続）

日本オペレーションズ・リサーチ学会 フェロー　任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会　2007 年 4 月－（継続）

太田　亘

［論文］

「取引システム高速化とティックサイズの制約」『現代ファイナンス』No. 38，pp. 27-59，2016 年 9 月

［その他］

「高頻度取引と情報生産」『証券アナリストジャーナル』Vol. 54，No. 10，pp47-51，2016 年 10 月

［研究報告・研究発表］

「証券市場における大口投資家と流動性」，日本ファイナンス学会，2016 年 5 月 22 日，横浜国立大学

［学外活動］

日本ファイナンス学会 理事　任命権者・日本ファイナンス学会　2014 年 5 月－ 2016 年 5 月

日本証券アナリスト協会試験委員会 委員　任命権者・日本証券アナリスト協会　2014 年 11 月－（継続）

日本証券アナリスト協会『証券アナリストジャーナル』編集委員会 委員　任命権者・日本証券アナリスト協会　2014 年 11 月－（継続）

恩地　一樹

［研究報告・研究発表］

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” 財務総研セミナー，2016 年 8 月，財務省

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” SWET，2016 年 8 月，小樽商科大学

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” University of New South Wales Seminar Series, August 2016, UNSW

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” Seminar, November 2016, UCSD

“Stock ownership bunching,” National Tax Association, November 2016, Baltimore (Co-author)

小野　哲生

［論文］

“Inequality and the Politics of Redistribution,” *International Tax and Public Finance*, Vol. 23, Iss. 2, pp. 191-217, April 2016

“Pensions, Education, and Growth: A Positive Analysis,” *Journal of Macroeconomics*, Vol. 48, pp. 127-143, June 2016, co-author with Yuki Uchida

［研究報告・研究発表］

“Inequality and Education Choice,” 2nd Belgian-Japanese Public Finance Workshop, March 2 2017,

Center for Operations Research and Econometrics, Belgium

大屋　幸輔

［著書］

統計教育大学間連携ネットワーク監修，美添泰人，竹村彰通，宿久洋編集『現代統計学』，日本評論社，2017 年 3 月 25 日，分担共著

［研究報告・研究発表］

「高次VARモデルを用いた周波数別のグレンジャー因果性検定」，2016 年度統計関連学会連合大会，2016 年 9 月 7 日，金沢大学，木下亮氏，新谷元嗣氏との共同研究，報告：木下

“Simulation Study of Causality Change with Infinite Order Vector Autoregressive Processes,” 2016 International Conference for JSCS 30th Anniversary in Seattle, October 17, 2016, Seattle Central Library, jointly with R. Kinoshita and M. Shintani, presentation by Kinoshita

［学外活動］

日本統計学会 代議員　任命権者・日本統計学会　2015 年 6 月 1 日－（継続）

Pierre-Yves Donzé

［著書］

「クォーツ革命からファッションへ―時計」，黒澤隆文，橘川武朗，西村成弘編『グローバル経営史―国境を越える産業ダイナミズム』，pp. 64-89，名古屋大学出版会，2016 年 4 月 1 日

Industrial development, technology transfer, and global competition: The Japanese watch industry from 1850 to the present day, Routledge, 2017

［論文］

“The Beginnings of the Japanese Medical Instruments Industry and the Adaptation of Western Medicine to Japan (1880-1937),” *Australian Economic History Review*, Vol. 56, No. 3, pp. 272-291, November 2016

“Retail networks and real estate: the case of Swiss luxury watches in China and Southeast Asia,” *The International Review of Retail, Distribution and Consumer Research*, online November 11, 2016, with Thierry Theurillat

“Business History and Management Studies,” *Journal of Evolutionary Studies in Business*, Vol. 1, No. 1, pp. 122-151, January-June 2016, with Adoracion Alvaro-Moya

“The transformation of global luxury brands: The case of the Swiss watch company Longines, 1880-2010,” *Business History*, online March 1, 2017

［その他］

書 評：Denis Varaschin, Hubert Bonin and Yves Bouvier (eds.), “Histoire économique et sociale de la Savoie de 1860 à nos jours, Genève : Droz, 2014,” *Revue suisse d'histoire*, Vol. 65, No. 3, pp. 506-508, 2016

書評：Yasushi Tanaka, Toshiaki Tamaki, Jari Ojala, and Jari Eloranta (eds.), “Comparing Post-War Japanese and Finnish Economies and Societies: Longitudinal perspectives,” Oxon and New York: Routledge, 2015, *Scandinavian Economic History Review*, Vol. 64, No. 1, pp. 75-77, 2016

“Selling luxury watches in Asia: the changing position of independent distributors,” *Marketing Review St. Gallen*, Vol. 5, pp. 50-57, 2016, with Thierry Theurillat

［研究報告・研究発表］

“LVMH: organizing creativity and entrepreneurship in Luxury and Fashion,” Joint ABH-GUG

Conference, May 28, 2016, Berlin (Germany), with Ben Wubs

「戦前日本における専門医制の形成―放射線学の事例として―」，社会経済史学会第 85 回全国大会，2016 年 6 月 11 日，北海道大学

「スイス時計産業の復活（1985 年以降）～ニコラス・G・ハイェックとジャン・クロード・ビバー（スウォッチグループ）を中心に」，『講座・企業家学』企業家研究フォーラム・大阪商工会議所連携講座，2016 年 6 月 25 日，大阪企業家ミュージアム

"From the Yellow Peril to "Cool Japan": Country's Image and Global Competitiveness of the Japanese Manufacturing Industry since the Meiji Period," First World Congress of Business History / 20th Congress of the European Business History Association, August 26, 2016, Bergen (Norway)

"Global value chains and fashion accessories: the case of the US watch company Fossil," First World Congress of Business History / 20th Congress of the European Business History Association, August 27, 2016, Bergen (Norway)

"Catch up with and surpass Switzerland: the Japanese watch industry, 1945-1985," talk at the Swiss-Japanese Chamber of Commerce, September 22, 2016, Zurich (Switzerland)

"The Construction of Hospitals in Post-War Japan: A Business Between State Planning and Free Competition (1945-1960)," Innovation and Business in the Healthcare Industries in the Twentieth Century, November 29, 2016, University of Barcelona (Spain)

"Fashion Prediction and the Transformation of the Japanese Textile Industry: The Role of Kentaro Kawasaki, 1950-1980," Growing Fashion Industry: Manufacturing, Wholesaling, and Retailing, December 1, 2016, Erasmus University, Rotterdam (Netherlands)

［学外活動］

経営史学会関西部会 幹事　任命権者・経営史学会会長　2013 年 4 月 1 日－ 2017 年 3 月 31 日

同志社大学商学部 非常勤講師　任命権者・同志社大学学長　2014 年 4 月 1 日－（継続）

Member of the Council of the European Business History Association (EBHA)　任命権者・Elected by members　2016 年 1 月 1 日－（継続）

経営史学会 評議員　任命権者・経営史学会会長　2017 年 1 月 1 日－

Visiting Professor, University of Fribourg, Switzerland　任命権者・Dean of the Faculty of Letters　2017 年 2 月 1 日－

佐々木　勝

［論文］

「景気変動が賃金格差に与える影響」『経済分析』191 号，pp.35-62，2016 年 11 月，宮本弘暁

［研究報告・研究発表］

"Committee Voting and Moral: Laboratory Experiments," 関西学院大学経済学セミナー，2016 年 5 月 20 日，関西学院大学

"Committee Voting and Moral: Laboratory Experiments," 立命館大学FIXSセミナー，2016 年 11 月 18 日，立命館大学

"Committee Voting and Moral: Laboratory Experiments," 第 10 回行動経済学会，2016 年 12 月 3 日，一橋大学

"Measuring risk attitudes in a laboratory experiment," 武蔵大学経済セミナー，2017 年 1 月 20 日，武蔵大学

"Committee Voting and Moral: Laboratory Experiments," 早稲田大学現政研セミナー，2017 年 1 月 24 日，早稲田大学

“Measuring risk attitudes in a laboratory experiment,” 青森公立大学セミナー，2017 年 2 月 3 日，青森公立大学

“Committee Voting and Moral: Laboratory Experiments,” the Asian-Pacific Meeting of the Economic Science Association，2017 年 2 月 17 日，国立台湾大学

［学外活動］

日本労働研究雑誌 編集委員　任命権者・労働政策研究・研修機構　2011 年 3 月 11 日－（継続）

関口　倫紀

［著書］

関口倫紀，竹内規彦，井口知栄編著『国際人的資源管理』，中央経済社，2016 年 6 月

［論文］

“International human resource management of Japanese multinational corporations: Challenges and Future Directions,” *Asian Business & Management*, Vol. 15, Iss. 2, pp. 83-109, April 2016, with F. J. Froese & C. Iguchi

“Human resource management practices at foreign-affiliated companies in least-developed regions: US and Japanese Companies in Nepal,” *Asian Business & Management*, Vol. 15, Iss. 2, pp. 137-164, April 2016, with M. P. Maharjan

“The influence and effectiveness of US-style and Japanese-style HR practices on Indian firms: A conceptual perspective,” *South Asian Journal of Human Resources Management*, Vol. 3, Iss. 1, pp. 58-74, June 2016, with M. P. Maharjan

「日本企業海外子会社における人的資源管理の実証研究」『国際ビジネス研究』第 8 巻第 1 号，pp. 89-105，2016 年 6 月，牧美喜男

“Human resource management of Japanese companies in Hungary: How do Japanese and the Hungarian styles blend?,” *Journal of East-West Business*, Vol. 22, Iss. 3, pp. 145-167, August 2016, with T. V. Grill & M. P. Maharjan

“Target firm employee perceptions of procedural and interpersonal justice,” *Human Systems Management*, Vol. 35, Iss. 3, pp. 165-173, September 2016, with R. Bebenroth & M. Ismail

［その他］

“The emerging research on indigenous management in Asia,” *Asia Pacific Journal of Management*, Vol. 33, Iss. 3, pp. 583-594, September 2016, with P. P. Li & K. Zhou

［研究報告・研究発表］

“Relationship between women personality traits, glass ceiling beliefs and their impact on subjective career success,” The 2016 Management Theory and Practice Conference, April 3, 2016, Kyoto, Japan, with S. Khalid

“Dispositional resistance to change and willingness to accept international assignment,” The 43rd Academy of International Business UK and Ireland Chapter (AIB-UKI) conference, April 9, 2016, London, UK, with S. Yamao

“Do I have to speak Japanese? The impact of language on team effectiveness,” The Association of Japanese Business Studies (AJBS) 29th Annual Conference, June 25, 2016 New Orleans, USA, with T. Liu

“The impact of language on team effectiveness,” The Annual Conference of Academy of International Business, June 28, 2016, New Orleans, USA, with T. Liu

“Retaining diverse employee talent through greater organizational embeddedness,” The Annual

Conference of Academy of International Business, June 29, 2016, New Orleans, USA, with D. Ghosh

"Introduction to Applied Psychology: An International Review," 2016 Wiley How to get published session at Emerging Psychologists Program, the 31st International Congress of Psychology, July 23, 2016, Yokohama, Japan

"Diversity and inclusion in the Japanese workplace," DIJ Forum, Deutsches Institut für Japanstudien, July 28, 2016, Tokyo, Japan

"How supervisors respond to employee voice: The effects of voice target, expertise, and power," The Annual Conference of Academy of Management, August 8, 2016, Anaheim, USA, with Y. Yang and J. Li

"Does organizational justice influence organization embeddedness?," The Annual Conference of British Academy of Management, September 7, 2016, Newcastle, UK, with D. Ghosh

［学術賞］

Recommended Paper Award　Osaka University　Saddam Khalid & Tomoki Sekiguchi　April 2, 2016

［学外活動］

関西学院大学大学院経営戦略研究科 非常勤講師　任命権者・関西学院大学学長　2007 年 4 月 －（継続）

経営行動科学学会・学会誌 編集委員　任命権者・経営行動科学学会会長　2008 年 －（継続）

Associate Editor, *Applied Psychology: An International Review*　任命権者・Editor-In-Chief, *Applied Psychology: An International Review*　2013 年 1 月 －（継続）

Editorial Board Member, *Australasian Journal of Organisational Psychology*　任命権者・Editor-In-Chief, *Australasian Journal of Organisational Psychology*　2013 年 9 月 －（継続）

Guest Editor, *Asia Pacific Journal of Management*　任命権者・Editor-In-Chief, *Asia Pacific Journal of Management*　2013 年 12 月 －（継続）

経営行動科学学会・国際学術交流担当 理事　任命権者・経営行動科学学会会長　2014 年 4 月 －（継続）

Guest Editor, *Asian Business & Management*　任命権者・Editor-In-Chief, *Asian Business & Management*　2014 年 8 月 －（継続）

Associate Editor, *Asia Pacific Management Review*　任命権者・Editor-In-Chief, *Asia Pacific Management Review*　2015 年 1 月 －（継続）

Editorial Board Member, *Cross Cultural & Strategic Management*　任命権者・Editor-In-Chief, *Cross Cultural & Strategic Management*　2015 年 6 月 －（継続）

Secretary, Association of Japanese Business Studies　任命権者・President of the Association of Japanese Business Studies　2015 年 6 月 －（継続）

椎葉　淳

［論文］

「営業部門における業績評価とICTの関係について」『メルコ管理会計研究』第 9 号-I，pp. 15-28，2016 年 11 月，奥田真也

「需要の不確実性とコスト構造－日本企業データを用いた分析－」『青山経営論集』第 51 巻第 3 号，pp. 151-167，2016 年 12 月，高橋邦丸，佐々木郁子

「新規参入企業に対するプレアナウンスメントの戦略的効果」『現代ディスクロージャー研究』第 16 号，pp. 1-23，2017 年 3 月，三輪一統

［その他］

「クラウド会計が切り開く取引記録分析の可能性」『企業会計』第69巻第1号，pp.4-5，2017年1月

「契約理論が切り開く会計研究の可能性」『企業会計』第69巻第2号，pp.4-5，2017年2月

［研究報告・研究発表］

“Voluntary Disclosure and Value Relevance of Segment Information,” American Accounting Association, Annual Meeting, August 8, 2016, New York Hilton Midtown, New York, U.S.A.

“Manager's Forecasting Strategy and Project Complexity,” Asia-Pacific Management Accounting Association, The 8th Annual Forum, October 5, 2016, The Sherwood Taipei, Taipei, Taiwan

“The Supplier-Customer Relationship and Cost Structure in Japan,” 25th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, November 7, 2016, Ritz-Carlton, Kapalua in Maui, Hawaii

［学外活動］

Associate Editor, *The Japanese Accounting Review*　任命権者・*The Japanese Accounting Review*, Editor　2011年4月1日－（継続）

日本管理会計学会 学会誌編集委員　任命権者・日本管理会計学会常務理事会　2014年4月1日－（継続）

日本ディスクロージャー研究学会 学会誌編集委員　任命権者・日本ディスクロージャー研究学会常任理事会　2017年2月1日－

鈴木　敦子

［その他］

「旅立つ新八少年のふるさと粥見」『まほら』No.90，pp.40-41，2017年1月1日

［研究報告・研究発表］

「空前絶後の大安売り―三井越後屋改鋳奮戦記―」，髙田郁×鈴木敦子公開対談「近世呉服商経営のダイナミズム～ただ金銀が町人の氏系図になるぞかし」，2017年2月26日，大阪大学会館

「買うての幸い、売っての幸せ。あきない戦国時代の商人の心意気！」，髙田郁×鈴木敦子公開対談「近世呉服商経営のダイナミズム ～ただ金銀が町人の氏系図になるぞかし」，2017年2月26日，大阪大学会館

［学外活動］

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 古文書調査員　任命権者・公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会理事長　2008年4月1日－（継続）

企業史料協議会くずし字研究会 講師　任命権者・企業史料協議会会長　2013年7月9日－（継続）

高橋　慎

［論文］

「注文フロー不均衡と価格インパクト」『先物・オプションレポート』Vol.28，No.4，pp.1-5，2016年4月

“Volatility and quantile forecasts by realized stochastic volatility models with generalized hyperbolic distribution,” *International Journal of Forecasting*, Vol.32 No.2 pp.437-457, April 2016, with Toshiaki Watanabe, Yasuhiro Omori

［研究報告・研究発表］

“Contemporaneous relationship between transaction returns and order flows: Implications on return

variance,” 日本ファイナンス学会第 24 回大会，2016 年 5 月，横浜国立大学

谷﨑　久志

［学外活動］

日本統計学会 代議員　任命権者・日本統計学会　2015 年 6 月 − （継続）

2016 年度統計関連学会連合大会（金沢大学）プログラム副委員長　任命権者・統計関連学会連合　2015 年 9 月 − 2016 年 9 月

2017 年度統計関連学会連合大会（南山大学）プログラム委員長　任命権者・統計関連学会連合　2016 年 9 月 −

友部　謙一

［研究報告・研究発表］

“Fertility, infant mortality and economic development in Tokugawa and Modern Japan,” AAS-in-Asia 2016 Conference, 2016 年 6 月 26 日, 同志社大学

“Heights and Economic Development in Modern Rural Japan: From the Analysis of School Registers of a Primary School, Ca. 1890 s-1930 s.,” 41 st Annual Meeting of the Social Science History Association, November 19, 2016, The Palmer House Hilton, Chicago

［学外活動］

社会経済史学会 編集委員　任命権者・社会経済史学会　2007 年 1 月 1 日 − （継続）

社会経済史学会 理事　任命権者・社会経済史学会　2008 年 9 月 1 日 − （継続）

浦井　憲

［論文］

「経済の拡張可能性に基づく価格メカニズムの普遍性ならびに効率性の特徴付け」『大阪大学経済学』第 66 巻第 1 号，pp. 1-9，2016 年 6 月，白石晃三，村上裕美と共著

「選好飽和点の存在する経済におけるコア極限定理」『大阪大学経済学』第 66 巻第 1 号，pp. 24-32，2016 年 6 月，村上裕美と共著

“Replica Core Equivalence Theorem: An Extension of the Debreu-Scarf Limit Theorem to Double Infinity Monetary Economies,” *Journal of Mathematical Economics*, Vol. 66, pp. 83-88, October 2016, with Hiromi Murakami

［学外活動］

数理経済学会方法論部会 幹事　任命権者・数理経済学会　2013 年 4 月 1 日 − （継続）

渡辺　泰明

［研究報告・研究発表］

“Is Risk-Factor-Based Asset Allocation superior to Asset-Class-Based Asset Allocation? : Evidence from CalPERS and GPIF,” Forecasting Financial Markets: Advances for Exchange Rates, Interest Rates and Asset Management, May 27, 2016, Hannover, Germany

［学外活動］

Journal of Computational Optimization in Economics and Finance 論文査読委員　任命権者・*Journal of Computational Optimization in Economics and Finance* 編集長　2008 年 11 月 − （継続）

Financial Analysts Journal 論文査読委員　任命権者・*Financial Analysts Journal* 編集長　2009 年 2 月 − （継続）

日本スタンフォード協会 運営委員兼理事　任命権者・日本スタンフォード協会会長　2012 年 6 月 1 日－（継続）

近畿大学経営学部 商学科長（教授）　任命権者・近畿大学理事長　2013 年 4 月－（継続）

Wirawan Dony Dahana

［論文］

「計量書誌学アプローチによるイノベーション普及理論レビューと今後の展望」『マーケティング・サイエンス』Vol.24，No.1，pp.27-52，2016 年 12 月，勝又壮太郎，西本章宏，飯野純彦，井上哲浩

「カテゴリーベース処理の選択行動モデルと市場戦略への示唆」『オペレーションズ・リサーチ』Vol.62，No.2，pp.100-109，2017 年 2 月，勝又壮太郎，中島望

［研究報告・研究発表］

「Bibliometric アプローチによるマーケティングおよび周辺領域における普及理論」レビュー，日本マーケティング・サイエンス学会，2016 年 6 月 11 日，東北大学

「顧客満足度とサービスの待ち時間に関する実証分析」，日本マーケティング・サイエンス学会，2016 年 6 月 12 日，東北大学

「顧客関係管理研究のレビュー：2000 年以降の文献を中心に」，日本マーケティング・サイエンス学会，2016 年 11 月 16 日，ホテル阪急エキスポパーク

“Measuring the Relation between Channel Usage and Customer Life Time Value,” International Workshop on Marketing Science and Service Research，2016 年 12 月 22 日，東京大学

許　衛東

［研究報告・研究発表］

「清末・民国期（19 世紀末期～1930 年代中期）における珠江デルタの器械蚕糸業の盛衰と産地構造からみた中国華南地域の初期工業化の特質」，第 10 回「現代中国の社会変動と東アジアの新環境」国際シンポジウム，2016 年 8 月 28 日，中国山東大学

［学外活動］

大阪観光大学 非常勤講師　任命権者・学校法人明浄学院理事長　2015 年 10 月 1 日－（継続）

山本　千映

［論文］

「産地京都の 300 年―明治維新から 22 世紀まで―」『経営史学』第 51 巻第 1 号，pp.53-71，2016 年 6 月，橋野知子，高槻泰郎と共著

［研究報告・研究発表］

「19 世紀のスタッフォードシャーにおける識字率―産業革命の影響と犯罪少年―」，比較教育社会史研究会春季例会，2017 年 3 月 27 日，大阪大学

［学外活動］

社会経済史学会 幹事　任命権者・社会経済史学会代表理事　2009 年 1 月－（継続）

山本　和博

［論文］

“Endogenous Labor Supply and International Trade,” *International Journal of Economic Theory*, Vol.13, Iss.1, pp.73-94, March 2017, Takanori Ago, with Tadashi Morita, Takatoshi Tabuchi

山本　達司

［研究報告・研究発表］

“Are IPOs ‘Overpriced’? Strategic Interactions between the Entrepreneur and the Underwriter by Lying,” International Conference on Business and Economics Research, September 22, 2016, Holiday Inn Vancouver

“Are IPOs “Overpriced?” Strategic Interactions between the Entrepreneur and the Underwriter,” Vietnam Symposium in Banking and Finance, November 18, 2016, Vietnam National University

［学外活動］

Associate Editor, *The Japanese Accounting Review*　任命権者・*The Japanese Accounting Review* 2011年2月－（継続）

日本経営分析学会 学会賞審査委員　任命権者・日本経営分析学会　2014年11月7日－（継続）

日本ディスクロージャー学会 理事　任命権者・日本ディスクロージャー学会　2015年4月1日－

安田　洋祐

［著書］

『欲望の資本主義』，東洋経済新報社，2017年3月，分担執筆

［論文］

“Competitive Market Achieves the Greatest Happiness of the Minimum Number,” SSRN, #2755893, May 2016

“Strategy-proof Matching with Regional Minimum and Maximum Quotas,” *Artificial Intelligence*, Vol. 235, pp. 40-57, June 2016, with Masahiro Goto, Atsushi Iwasaki, Yujiro Kawasaki, Ryoji Kurata, and Makoto Yokoo

“The Ultimate Objective of the Development Process: Pursuit of Material Wealth versus Societal Well-Being,” *The world in* 2050 *: Striving for a more just, prosperous, & harmonious global community* , Oxford University Press, Chapter 16: pp. 369-376, September 2016

［その他］

「数字は語る 21万社 公開されたパナマ文書のペーパーカンパニー数」『週刊ダイヤモンド』104巻21号，p. 24，2016年5月28日

（座談会）「10・20・30代の参院選」『朝日新聞』朝刊，2016年7月12日

「数字は語る 2100億円Jリーグの2017年から10年間の放映権料 パフォームグループとの契約」『週刊ダイヤモンド』104巻33号，p. 26，2016年8月27日

「特別講義：身近に使えるミクロ経済学」『週刊東洋経済』6684号，p. 49，2016年10月1日

「日本企業の「残業好き」が崩壊する意外な理由 気鋭の経済学者が読み解く「ライフ・シフト」」，東洋経済オンライン，2016年10月13日

「最近気になるNEWSな言葉―英国のEU離脱」『Mart』2016年10月号，p. 108，2016年10月

「数字は語る 20年 新たに提案された「積立NISA」の非課税期間」『週刊ダイヤモンド』104巻46号，p. 28，2016年11月26日

「新春座談会 我々が創造する日本の未来」『第三文明』2017年2月号，pp. 12-17，2016年12月

「教授インタビュー：ゲーム理論を社会に応用する」『Handai Warker』12・1月号，2016年12月

解説：『いつも「時間がない」あなたに：欠乏の行動経済学』ムッライナタン・シャフィール（大

田直子訳），ハヤカワ文庫，2017 年 1 月

「最近気になるNEWSな言葉―積立NISA」『Mart』2017 年 1 月号，p.110，2017 年 1 月

「スポーツに潜む戦略的思考 スポーツの経済学②」『経済セミナー』No.695，pp.51-59，2017 年 3 月

書評：『「トランプ時代」の新世界秩序』（三浦瑠麗，潮出版社），『第三文明』2017 年 4 月号，p.88，2017 年 3 月

［研究報告・研究発表］

“A Simple Economics of Inequality: Market Design Approach,” 経済学ワークショップ，2016 年 5 月，オーストラリア国立大学

“A Simple Economics of Inequality: Market Design Approach,” 経済学ワークショップ，2016 年 5 月，ニューサウスウェールズ大学

“The 40% Handicap Auction,” 経済学ワークショップ，2016 年 5 月，ニューサウスウェールズ大学

“A Simple Economics of Inequality: Market Design Approach,” ミクロ経済学ワークショップ，2016 年 6 月，東京大学

「マーケットデザインの理論と実践：多様な好みから理想のパートナーを見つけ出す仕組みとは？」，経営情報学会公開シンポジウム「人とITとの共創、多様で幸せな働き方の実現」，2016 年 6 月 4 日，キャンパス・イノベーションセンター東京

「スポーツに潜む戦略的思考」，大阪大学社会経済研究所・第 13 回行動経済学研究センターシンポジウム「スポーツの経済学」，2016 年 8 月 17 日，大阪大学中之島センター

“Reformulation of Nash Equilibrium with an Application to Interchangeability,” 第 31 回EEA-ESEM，2016 年 8 月 23 日，ジュネーブ

「研究とメディア活動を両立するための 3 つのコツ」日本経済学会秋季大会，2016 年 9 月 11 日，早稲田大学

“A Simple Economics of Inequality: Market Design Approach,” 第 20 回実験社会科学カンファレンス，2016 年 10 月 30 日，同志社大学

“A Simple Economics of Inequality: Market Design Approach,” Global Congress of Knowledge Economy，2016 年 11 月 11 日，青島

「ゲーム理論を活用したインセンティブ設計」，第 60 回GRL浜松セミナー，2017 年 2 月 3 日，静岡大学浜松キャンパス

「契約理論ってなんだろう？―2016 年度ノーベル経済学賞を紐解く―」，サプライチェーン戦略研究部会，2017 年 2 月 6 日，構造計画研究所

［学外活動］

関税政策等研究会 委員　任命権者・財務省関税局　2012 年 4 月－（継続）

財政・マクロ経済研究会 委員　任命権者・財務省財務総合政策研究所　2012 年 4 月－（継続）

金融市場調査会 委員　任命権者・東京金融取引所　2012 年 4 月－（継続）

サービス学将来検討会 委員　任命権者・科学技術振興機構　2014 年 4 月－（継続）

ビジネス変革と競争戦略に関する研究会 委員　任命権者・情報総合通信研究所　2016 年 4 月－ 2017 年 3 月

長期地球温暖化対策プラットフォーム 委員　任命権者・経済産業省産業技術環境局　2016 年 4 月－